



2025 夏休みおすすめ本 5・6年生

『古典がおいしい!平安時代のスイーツ』 383マ

前川 ^{かよ}佳代／著 穴戸 ^{ししど}香美／著 かもがわ出版

わたし達がくらす現代は、おいしいスイーツであふれています。実は、今から千年くらい前の平安時代にもあまくておいしいスイーツがあり、人びとは食べて楽しんでいました。おいしいものを食べたいという気持ちは、今も昔も変わらないようですね。ぜひ、この夏休みに平安時代の古典にでてくるスイーツを作ってみてください。自由研究にもおすすめです。

『にっぽんのクマ “クマのすべて” がわかる』 489ニ

山崎 ^{こうじ}晃司／監修 ^{かんしゅう}カンゼン

クマは、数十万年も前から日本でくらしています。「クマにご注意ください」。わたしたちが住む小川町でも、このような注意がよびかけられることがありました。クマが身近なそんざいになりつつあるのはなぜでしょうか。クマの生活する森の様子もかわってしまっています。クマについて知り、わたしたちにできることを考えてみましょう。

『もしもミツバチが世界から消えてしまったら』 646ア

有沢 ^{しげお}重雄／著 中村 ^{じゅん}純／監修 旬報社

「ミツバチがこの世界から消えてしまったら人類は生きていけない」こんな言葉を聞いたらどう思いますか？なぜ、私たちの未来とミツバチが関係あるのかな？実は、ミツバチは現代の私たちの生活になくてはならないもののなのです。何と！何千年も前のミイラ^{ほそん}の保存にも役立っていたのですよ。なぜかな？それは読んでからの楽しみ！

『二分間の冒険』 913オ

岡田 ^{じゅん}淳／著 太田 大八／絵 ^{かい}偕成社

6年生の悟^{さとる}は、クラスメートたちと体育館でたいくつな作業をしているところ、あることがきっかけで、二分間だけ、そのたいくつな時間から解放されたのですが、ぐうぜん出会った黒ネコにさそわれ、不思議な世界に迷いこんでしまいました。そして、元の世界に戻るために必要な「確かなもの」を探す、長くて短い二分間の冒険の旅が始まったのです。

『大きなたまご』 1B933バ

オリバー・バターワース／作 松岡 ^{きょうこ}亨子／訳 岩波書店

ある日、めんどりが見たことのないような大きな大きなたまごを産みました。ネイトが、たまごのお世話を続けること6週間。産まれてきたのは、みんな知っているけど、実物をだれもみたことのない、あの生物でした。生物はどんどん、どんどん大きくなっていって…。少年ネイトのひと夏の冒険がはじまります。

『おじいちゃんとの最後の旅』 949ス

ウルフ・スタルク／作 キティ・クローザー／絵 ^{ひしき}菱木 ^{あきらこ}晃子／訳 徳間書店

いま、ぼくのおじいちゃんは病院に入院している。パパは、おじいちゃんのお見舞^まいに行きたがらない。でも、ぼくはおじいちゃんが好きだ。「おばあちゃんと二人で暮らしていた家に死ぬ前に一度もどりたい」というおじいちゃんのために、ぼくは病院をぬけ出すカンペキな計画を立てた…。おじいちゃんと孫の最後の旅の物語。



小川町立図書館